

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	5	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
体づくり運動 ・多様な動きをつくる運動	11	・体のバランスを取る動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

			<p>(イ)体を移動する運動 姿勢, 速さ, リズム, 方向などを変えて, 這う, 歩く, 走る, 跳ぶ, はねる, 登る, 下りるなどの動きで構成される運動や, 一定の速さでのかけ足などの運動を通して, 体を移動する動きを身に付けることができる。</p> <p>(ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ, 持つ, 降ろす, 回す, 転がす, くぐる, 運ぶ, 投げる, 捕る, 跳ぶ, 用具に乗る, 跳び越すなどの動きで構成される運動を通して, 巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。</p> <p>(エ)力試しの運動 人や物を押す, 引く, 運ぶ, 支える, ぶら下がるなどの動きや, 力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り, 力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。</p> <p>(オ)基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する, 用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり, 連続して行ったりする運動を通して, 基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。</p>		
--	--	--	---	--	--

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・マット運動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。 ・基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転 ○後転 ○開脚後転 ○補助倒立ブリッジ ○側方倒立回転 ○壁倒立 ○壁登り倒立 ○頭倒立 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・鉄棒運動	6	・鉄棒の技に挑戦したり, 技を組み合わせたりして楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技ができる。 ・基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り下り ○かかえ込み前回り ○転向前下り ○膝掛け振り上がり ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり ○かかえ込み後ろ回り ○後方片膝掛け回転	・学習カード, 掲示物などを用いて, 自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って, 自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために, 自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど, 課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方, 技を観察するときなどのきまりを守り, 誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを, 友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして, 技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に, 友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり, 器械・器具の安全を確かめたりするとともに, 試技の開始前の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・跳び箱運動	8	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本技ができる。 ・基本技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び(発展技:かかえ込み跳び) ○台上前転 ○首はね跳び	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見つけたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・跳び箱運動の基本技に進んで取り組んでいる。 ・跳び箱、踏み切り板などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動 ・かけっこ・リレー	6	・いろいろなくねくねコースで競走したり、決まりを決めてリレーをしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・折り返すときにコーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫してロープを使ったくねくねコースや、折り返しリレーなどのコースを作っている。 ・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則などを話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ・リレーに進んで取り組んでい る。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動 ・小型ハードル走	6	・小型ハードルをいろいろなリズムで走り越したり, 自分に合ったリズムで走り越したりして, 競走する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の间隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな小型ハードル走のコースや, 調子よく走り越せるコースを作り, 自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり, 自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり, 教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え, 競走の規則などを話し合って決めたり, 選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを, 学習カードに記入したり, 振り返りの時間に発表したり, 感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り, 誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり, 動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に, 友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに, 用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動 ・走り幅跳び	6	・短い助走から強く踏み切って遠くに跳び、きまりを工夫して記録に挑戦したり、跳び比べをしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、両足で着地することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・走り幅跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り幅跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水泳運動	8	・いろいろな浮き方やもぐり方、泳ぎ方をする。	<p>【浮いて進む運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して、伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 ・補助具を用いて浮き、呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け、手や足をゆっくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎなど、頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。 <p>【もぐる・浮く運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もぐる・浮く運動の行い方がわかる。 ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ、股ぐり、変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。 ・補助具を使って浮力を生かし 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・補助具を活用したり友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。 ・自分で試したいろいろなもぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳運動に進んで取り組んでいる。 ・け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・準備運動や整理運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る、プールに飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。

いろいろな浮き方をする
ことができる。

・大きく息を吸い込み全身の
力を抜いて、
背浮き、だるま浮き、変身浮き
などのいろいろな姿勢で浮く
ことができる。

・だるま浮きやボビングなどを
活用した簡単な浮き沈みが
できる。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ゴール型(タグラグビー)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・相手をかわしたり、パスをしたりしながら、攻め方を工夫してタグラグビーをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーの行い方がわかる。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールをトライすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくタグラグビーに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・タグを取ったり、トライするために、簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを、動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ・ベースボール型(ラケットベースボール)	6	・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ラケットベースボールをする。	・ラケットベースボールの行い方がわかる。 ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げることができる。 ・向かってくるボールの正面に移動し、ボールを捕ることができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。	・誰もが楽しくラケットベースボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。 ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・ラケットベースボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ネット型(フローボール)	6	<ul style="list-style-type: none"> ボールをはじいたり打ったりしながら、攻め方を工夫して、フローボールをする。 	<ul style="list-style-type: none"> フローボールの行い方がわかる。 いろいろな高さのボールを片手もしくは両手を使ってはじいたり、打ちつけたりすることができる。 相手コートから転がってきたボールを片手もしくは両手を使って相手コートに返球することができる。 ボールの方向に体を向けたり、ボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが楽しくフローボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。 得点を多くあげるために、簡単な作戦を話し合ったり決めて、選んだりしている。 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> フローボールに進んで取り組んでいる。 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 勝敗を受け入れている。 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ゴール型(セストボール)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫してセストボールをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セストボールの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、シュートをしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくセストボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セストボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
-----	----	------------------	--------------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現運動 表現・忍者参上！	6	・忍者の忍びや、対決などの特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「忍者参上！」の行い方がわかる。 ・表現「忍者参上！」ならではのふさわしい動き(忍び込む、戦うなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「忍者参上！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶ一転がる、素早く動くー急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、「追いつ・追われつ」や「戦い・対決」などの2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「忍者参上！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・表現「忍者参上！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「忍者参上！」に進んで取り組んでいる。 ・表現「忍者参上！」に取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

表現運動 リズムダンス	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きと一緒に踊るなどして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。
----------------	---	---	--	--	---

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>保健 健康って、なに？</p>	<p>1</p>	<p>・心や体の調子がよい状態が健康だとい うこと、健康は自分自身の生活や周囲の環境が要因になって変化することを理解できるようにする。 ・健康であるためには何が大切なのかを考え、書いたり伝えたりできるようにする。 ・健康の状態や健康のよさについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。</p>	<p>・健康の状態には、気持ちが意欲的であること、元気なこと、具合の悪いところがないことなどの心や体の調子がよい状態があることを理解している。 ・健康の状態には、1日の生活の仕方などの主体の要因や身の回りの環境の要因が関わっていることを理解している。 ・心や体が健康であることは、人と関わりながら明るく充実した毎日の生活を送れることにつながり、健康がかけがえのないものであると理解している。</p>	<p>・1日の生活の仕方などの主体の要因や身の回りの環境の要因から健康に関わる課題を見付けている。 ・こうしているから健康でいられるということを、自分の体と回りの環境に分けて考え、説明している。 ・健康な心身の状態や、健康のよさについて考え、説明している。 ・健康に過ごすために考えた方法を学習カードなどに書いたり、発表したりして伝え合っている。</p>	<p>・健康や、自分の1日の生活の仕方に関心を示し、規則正しい生活の仕方について、自分の日常生活と照らし合わせて注意を向けている。 ・自分が健康であるために毎日の運動、運動、休養・睡眠に関心を示し、自分の毎日の生活をよりよくしようとしている。</p>
------------------------	----------	--	---	---	---

<p>教科</p>	<p>体育</p>	<p>学年</p>	<p>第3学年</p>
-----------	-----------	-----------	-------------

<p>単元名</p>	<p>時数</p>	<p>単元の到達目標(小単元のねらい)</p>	<p>単元のまとまりの評価規準</p>		
			<p>知識・技能</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>

<p>保健 健康な一日の生活</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活を続けることが大切であると理解できるようにする。 ・健康な生活に関わる課題を見つけ、その解決に向けて考え、書いたり伝えたりできるようにする。 ・自分の1日の生活を振り返り、健康増進のために進んで学習に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進には、1日の生活の仕方が深く関わっており、1日の生活のリズムに合わせて、運動、食事、休養及び睡眠をとることが必要であることを理解している。 ・日常生活に運動を取り入れることの大切さについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動、食事、休養・睡眠などの生活のリズムが崩れるとどうなるかを考え、説明している。 ・運動、食事、休養及び睡眠について学習したことと、自分の生活とを比べて、自分の生活リズムを整えるための方法を考え、伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の運動、食事、休養・睡眠に関心を示し、生活の仕方に関心を持って自分に合った生活リズムを進んでつくろうとしている。
------------------------	----------	---	--	---	---

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 体の清潔	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日を健康に過ごすには、体や衣服、ハンカチなどを清潔に保つことが必要であることを理解できるようにする。 ・学習したことや自分の生活を振り返り、体の清潔について考え、書いたり伝えたりする。 ・体や衣服などの清潔に関心を持ち、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進には、手や足などの清潔、ハンカチや衣服などの清潔を保つことが必要であると理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を洗う必要性について考え、発表したりして伝え合っている。 ・自分の生活を振り返り、手洗いするとよい場面について考え、伝え合っている。 ・ハンカチや衣服を毎日取り換える理由について考え、発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体や衣服を清潔にすることについて関心を持ち、清潔に保とうとしている。

教科	体育	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 身の回りの環境	1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進には、生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気など、生活環境を整えることが必要であることを理解できるようにする。 ・部屋の明るさの調節や換気などの学習したことと、自分の生活とを比べたり関連付けたりして、生活環境を整えるための方法を考えることができるようにする。 ・自分の生活を見直すことを通して、生活環境を整えるために自分でできることに気づかせ、実践する意欲を持つことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進には、生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えることが必要であると理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暗い部屋でのものの見え方について考え、説明している。 ・窓を閉め切った室内にいと部屋の空気はどうなるかを考え、説明している。 ・部屋の明るさの調節や換気などの観点から、自分の生活で見直すべき課題を見付け、解決方法を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活に関心をもち、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えようとしている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	7	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
・多様な動きをつくる運動	10	・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

<p>・多様な動きをつくる運動</p>			<p>(イ)体を移動する運動 姿勢, 速さ, リズム, 方向などを変えて, 這う, 歩く, 走る, 跳ぶ, はねる, 登る, 下りるなどの動きで構成される運動や, 一定の速さでのかけ足などの運動を通して, 体を移動する動きを身に付けることができる。</p> <p>(ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ, 持つ, 降ろす, 回す, 転がす, くぐる, 運ぶ, 投げる, 捕る, 跳ぶ, 用具に乗る, 跳び越すなどの動きで構成される運動を通して, 巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。</p> <p>(エ)力試しの運動 人や物を押す, 引く, 運ぶ, 支える, ぶら下がるなどの動きや, 力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り, 力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。</p> <p>(オ)基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する, 用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり, 連続して行ったりする運動を通して, 基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。</p>		
---------------------	--	--	---	--	--

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・マット運動	8	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。 ・基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転(発展技:開脚前転) ○易しい場での開脚前転 ○開脚後転(発展技:伸膝後転) ○補助倒立ブリッジ(発展技:倒立ブリッジ) ○側方倒立回転(発展技:ロンドアート) ○首はね起き(発展技:頭はね起き) ○頭倒立 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・鉄棒運動	5	・鉄棒の技に挑戦したり, 技を組み合わせたりして楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に組み組んだ上で, それらの発展技に組み組んだり, 技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り下り(発展技: 前方支持回転) ○かかえ込み前回り(発展技: 前方支持回転) ○転向前下り(発展技: 片足踏み越し下り) ○膝掛け振り上がり(発展技: 膝掛け上がり) ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり(発展技: 逆上がり) ○かかえ込み後ろ回り(発展技: 後方支持回転) ○後方片膝掛け回転 ○両膝掛け倒立下り 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード, 掲示物などを用いて, 自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って, 自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために, 自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど, 課題解決のために考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方, 技を観察するときなどのきまりを守り, 誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを, 友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして, 技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に, 友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり, 器械・器具の安全を確かめたりするとともに, 試技の開始前の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・跳び箱運動	7	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本技をすることができる。 ・基本技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び(発展技:かかえ込み跳び) ○台上前転(発展技:伸膝台上前転) ○首はね跳び(発展技:頭はね跳び)	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見つけたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・跳び箱運動の基本技に進んで取り組んでいる。 ・跳び箱、踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動 ・かけっこ・リレー	3	・いろいろなかけっこをしたり、きまりを工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいく。 ・8秒間走やリレーの仕方について考え、競走の規則やリレーの仕方を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動 ・小型ハードル走	5	・いろいろなコースで、3歩のリズムで小型ハードルを走り越し、競走する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の間に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歩のリズムで調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動 ・走り高跳び	5	・短い助走から強く踏み切って跳び、決まりを工夫して跳び比べをしたり、記録に挑戦したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びの行い方がわかる。 ・3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、足から着地することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り高跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
走・跳の運動 ・ボール投げ	2	・いろいろな場でボールを投げ て、ボールを遠くに投げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げの行い方がわかる。 ・投げる手と反対の足を踏み出して体重移動をスムーズに行い、腕を大きく振ってボールを遠くまで投げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・ボール投げのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに投げるための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合っ決めて、選んだりしている。 ・ボール投げのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・ボール投げをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水泳運動	8	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな浮き方やもぐり方, 簡単なクロールや平泳ぎをする。 	<p>【浮いて進む運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して, 伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 ・補助具を用いて浮き, 呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け, 手や足をゆっくりと動かし進むなど, 呼吸を伴わない簡単なクロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ, 簡単なクロールや平泳ぎなど, 頭の上方に腕を伸ばした姿勢で, 手や足をバランスよく動かし, 呼吸をしながら進むことができる。 <p>【もぐる・浮く運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もぐる・浮く運動の行い方がわかる。 ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ, 股ぐり, 変身もぐりなどのいろいろなもぐり方がで 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げのポイントがわかり, 自分の課題を見付けている。 ・ボール投げのポイントについて見合ったり, 教え合ったりし, 遠くに投げるための練習方法の中から, 自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいく。 ・競争の仕方について考え, 競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合っ決めて, 選んだりしている。 ・ボール投げのポイントや友達のよい動きなどを, 学習カードに記入したり, 振り返りの時間に発表したり, 感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール投げに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り, 誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり, 動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に, 友達の考えを認めている。 ・ボール投げをする場所の危険物を取り除くとともに, 用具の安全を確かめている。

		<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none">・補助具を使って浮力を生かしたいろいろな浮き方をすることができる。・大きく息を吸い込み全身の力を抜いて背浮き, だるま浮き, 変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。・だるま浮きやボビングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。	
--	--	--	--

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ・ゴール型(フラッグフットボール)	9	・作戦を基に攻め方を工夫して、フラッグフットボールをする。	・フラッグフットボールの行い方がわかる。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールをタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	・誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・フラッグを取ったり、タッチダウンするための簡単な作戦を話し合ったり決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・フラッグフットボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ・ベースボール型(ティーボール)	7	・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ティーボールをする。	・ティーボールの行い方がわかる。 ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げる ことができる。 ・向かってくるボールの正面に移動することができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。	・誰もが楽しくティーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート の広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合っ て決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、 絵図などで友達に伝えている。	・ティーボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒 にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ネット型(キャッチバレー)	8	<ul style="list-style-type: none"> みんなで繋いで、落とすための工夫をして、キャッチバレーをする。 	<ul style="list-style-type: none"> キャッチバレーの行い方がわかる。 いろいろな高さのボールを片手、両手をでキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。 相手コートから飛んできたボールを片手、両手を使ってキャッチし、相手コートに返球することができる。 ボールの方向に体を向けたら、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが楽しくキャッチバレーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 得点を多くあげるための簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> キャッチバレーに進んで取り組んでいる。 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 勝敗を受け入れている。 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ゴール型(グリッドサッカー)	7	・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、グリッドサッカーをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・グリッドサッカーの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にパスを出したり、シュートをしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくグリッドサッカーができるように、プレイヤーの人数やコート of 広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合っ て決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリッドサッカーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現運動 表現・ジャングル探検に出発！	6	・ジャングル探検のいろいろな場面の特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「ジャングル探検に出発！」の行い方がわかる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」ならではのふさわしい動き(草むらや暗い洞窟を進む、折れそうな橋を渡るなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶー転がる、素早く動くー急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「ジャングル探検に出発！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・表現「ジャングル探検に出発！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「ジャングル探検に出発！」に進んで取り組んでいる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」に取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム リズムダンス	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きを一緒に踊るなどして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 変化していく体	1	<ul style="list-style-type: none"> ・体は、年齢とともに発育し、変化すること、発育には個人差があることを理解できるようにする。 ・体の発育の仕方には個人差があることを、表やグラフなどの資料から読み取り、説明できるようにする。 ・これまでとこれからの、自分たちの体の変化の仕方や個人差について関心を持ち、肯定的に捉えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体は年齢とともに発育、変化することがわかる。 ・身長は毎年同じように伸びるのではないこと、どれくらい伸びるか、どのように伸びるかは一人ひとり違うことがわかる。 ・体重の増え方も人によって違うことがわかる。 ・発育の仕方には個人差があることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身長伸び方は毎年違うことを、記録することから見付けている。 ・小さいころと比べて今の自分が大きくなったことを、身長伸び以外のことから説明している。 ・身長伸び方に個人差があることを6人の身長伸び方から読み取り、気づいたことを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の発育に関心を持ち、自己の発育について確かめようとしている。 ・発育の仕方には個人差があることをおさえたうえで、自分のこれからの発育に希望や期待をもとうとしている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 思春期の体の変化 ①体の外にあらわれる変化	1	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期には体つきの変化や発毛など、体に変化が現れること、それらには男女差、個人差があることを理解できるようにする。 ・思春期に現れる男女の体の変化について、資料を参考にしながら、個人差があることを説明できるようにする。 ・思春期の体の変化に関心を持ち、意欲的に調べたり考えたりして、変化することや個人差があることを肯定的に捉えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることがわかる。 ・思春期には体つきが変わるほかに、変声、発毛が起こることがわかる。 ・体の変化が始まる時期や、変化の現れ方には個人差があること、これらは大人の体に近づく現象であることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生のころの写真と大人の写真から、大人に近づくにつれて男女の体つきにはどんな違いが現れてくるのかを考え、発表している。 ・思春期に起こる体の外の変化にはどのようなものがあるのか、調べ、説明している。 ・思春期に起こる体の変化について、自分の成長と結び付けて考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期に起こる体の変化の学習に関心をもとうとしている。 ・思春期に起こる体の変化について、自己の変化を他者と比べて不安になることなく、自分や友達に理解ある態度で接する心構えをもとうとしている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 思春期の体の変化② 体の中 にあらわれる変化	1	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期になると、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 ・思春期の体の変化について学習したことを、自分の体の発達と結び付けて考え、表現することができるようにする。 ・新しい生命を生み出す準備として自身の体に変化することについて受け止め、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期には体つきが変わるほかに、初経・精通が起こることがわかる。 ・初経・精通が起こる時期は個人差があることがわかる。 ・初経・精通は、大人の体に近づき、新しい生命を生み出す準備が始まっていることがわかる。 ・思春期になると男女の性の違いに気づきやすくなり、異性のことが気になったり、好きになったりする思いが高まる一方で、反発し合うこともある。これらの心の変化は自然なことであること、変化のしかたは人によって違うことがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期には、体の中でどのような変化が起こるのかを調べ、変化が起こるしくみを説明している。 ・思春期の心の変化について小さいころと比べて違いを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期に起こる体の中の変化に関心を持ち、自分や友達の体の変化、あるいは異性の体の変化に理解ある態度で接する心構えをもとうとしている。 ・思春期の心の変化を、変化しない場合も含めて、自然なこととして受け入れている。

教科	体育	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 よりよい発育のために	1	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい発育のためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。 ・よりよい発育のためには、運動、食事、休養・睡眠などにおいて、どのような所に気をつけたらよいのか自らの生活を振り返りながら考え、説明できるようにする。 ・よりよい発育のための運動、食事、休養・睡眠について、意欲的に考え、実行にうつすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、多くの種類の食品をとることができるようなバランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることがわかる。 ・運動は、生涯を通じて骨や筋肉などを丈夫にする効果が期待されることがわかる。 ・食事については、特に、体をつくる基になるたん白質、不足しがちなカルシウム、不可欠なビタミンなどを摂取する必要があることがわかる。 ・十分な休養・睡眠をとることは、体と心の疲れをとるだけでなく、体の発育にも関係があることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理なく、毎日続けられる運動にはどんなものがあるのかを考え、自分に合った無理のない運動をいくつか見付けている。 ・適切な運動を毎日続けていると体にどんな効果があるのかを調べて、説明している。 ・よりよい発育のために、どんな食品を食べるのがよいのかを調べて、発表している。 ・バランスのよい食事にするために、どんな食品をとったらよいのかを考え、他者に伝えている。 ・よりよい発育と、休養・睡眠の関係について考え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日無理なくできる運動に興味をもって探し、実施しようとしている。 ・食事のとり方に関心を持ち、多くの種類の食品をバランスよく食べることを心がけようとしている。 ・発育と睡眠の関係に関心を持ち、よい睡眠をとれるよう心がけようとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。	・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。 ・様々な運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことなどを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。	・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
・体の動きを高める運動	7	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	・体の動きを高める運動の行い方がわかる。 (ア)体の柔らかさを高めるための運動 体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (イ)巧みな動きを高めるための運動 人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。	・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいる。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。	・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

			<p>(ウ)力強い動きを高めるための運動 自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。</p> <p>(エ)動きを持続する能力を高めるための運動 一つの運動又は複数の運動を組み合わせで一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。</p>	<p>・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。</p> <p>・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。</p>	
--	--	--	---	---	--

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・マット運動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・できる技を安定して行ったり、できそうな技に挑戦したり、技を組み合わせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせることで演技をつくり出したりできる。 ○開脚前転 ○補助倒立前転(更なる発展技:倒立前転) ○伸膝後転 ○倒立ブリッジ ○ロンダート ○頭はね起き ○補助倒立 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・鉄棒運動	4	・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりできる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転 ○片足踏み越し下り ○膝掛け上がり ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転 ○後方もも掛け回転 ○両膝掛け振動下り	・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・跳び箱運動	7	・いろいろな技に挑戦し、美しく安定した跳び方ができるようにする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び(更なる発展技：屈身跳び) ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び(更なる発展技：前方屈腕倒立回転跳び)	・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
陸上運動 ・短距離走・リレー	5	・素早いスタートからいろいろな短距離走をしたり、みんなの力を生かす作戦を工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走やリレーの行い方がわかる。 ・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走やリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走やリレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
陸上運動 ・ハードル走	5	・ハードルの間を3歩のリズムで調子よく走り越して、記録に挑戦したり競走したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走の行い方がわかる。 ・第1ハードルを決めた足で踏み切って走り越えることができる。 ・スタートから最後まで、体のバランスをとりながら真っ直ぐ走ることができる。 ・インターバルを3歩または5歩で走ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ハードル走の場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
陸上運動 ・走り幅跳び	5	・リズムカルな助走から力強く踏み切って遠くへ跳び、自分の記録に挑戦したり、走り幅跳びの競争をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びの行い方がわかる。 ・7～9歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。 ・かがみ跳びから両足で着地することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り幅跳びの場を整備したりするなど、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水泳運動	8	<ul style="list-style-type: none"> 安全確保に繋がる動きができるようになる。クロールや平泳ぎで長く泳げるようになる。 	<p>【クロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> クロールの行い方がわかる。 手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。 柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルなばた足をすることができる。 肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。 左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。 <p>【平泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平泳ぎの行い方がわかる。 両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。 足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。 手の動きに合わせて呼吸することができる。 キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードや掲示物などを活用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達的能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見つけたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確かめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。

			<p>【安全確保につながる運動】</p> <ul style="list-style-type: none">・安全確保につながる運動の行い方がわかる。・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押し沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に浮上する浮き沈みを続けることができる・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。・息を一度に吐き出し呼吸することができる。	
--	--	--	--	--

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ゴール型(フラッグフットボール)	7	<ul style="list-style-type: none"> ・作戦を基に、攻め方や動き方を工夫して、フラッグフットボールをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッグフットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッグフットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ベースボール型(ソフトボール)	8	・攻め方や守り方を工夫して、ソフトボールをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールの行い方がわかる。 ・止まったボールや易しく投げられたボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができる。 ・打球方向に移動し、捕球することができる。 ・捕球する相手に向かって、投げることができる。 ・塁間を全力で走塁することができる。 ・守備の隊形をとって得点を与えないようにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくソフトボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート of 広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ゴール型(シートバスケットボール)	7	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・シートバスケットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをする。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現運動・ はげしく〇〇する！	6	・生活や自然の中から、激しい感じや急変する感じなどの題材を見つけ、表したいイメージを感じを込めて踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「はげしく〇〇する」の行い方がわかる。 ・表現「はげしく〇〇する」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、そこに感情の変化や起伏を重ねていくことができる。 ・表したい感じやイメージを、素早く走る―急に止まる、ねじる―一回る、跳ぶ―転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返したりして、激しい感じや急変する感じをメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「はげしく〇〇する」のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいく。 ・表現したい「イメージを強調する」ために、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいく。 ・表現したい「イメージを伝える」ために、一番盛り上げたい場面を明確にし、急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいく。 ・表したい感じやイメージが表現され、踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいく。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「はげしく〇〇する」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。 ・表現に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・表現にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現運動 フォークダンス・日本の民踊	4	・「阿波踊り」「ソーラン節」「春駒」など、日本の踊りの特徴を捉えてみんなで踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の民踊の行い方がわかる。 ・日本の民踊の特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ・日本の民踊に共通する特徴やそれぞれの踊り方の特徴を捉え、構成された基本的な踊り方を身に付けて踊ることができる。 ・阿波踊り(徳島県)や春駒(岐阜県)などの軽快なリズムの踊りでは、軽快な足さばきや手振りで踊ることができる。 ・ソーラン節(北海道)の力強い踊りでは、低く踏みしめるような足取りや腰の動きで踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の民踊のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んで踊っている。 ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んで踊っている。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 ・ペアのグループやクラス全体で踊り、日本の民踊で身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の民踊で交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。 ・日本の民踊に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・日本の民踊にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・日本の民踊を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・踊る場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 心の発達	1	<ul style="list-style-type: none"> ・心は、人との関わり、あるいは自然とのふれあいなど、様々な生活経験や学習を通して、年齢とともに発達することを理解できるようにする。 ・心の発達について、自己の経験と学習したことを関連付けて、よりよく発達させる適切な方法を考えることができるようにする。 ・心の発達について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心は、感情、社会性、思考力など様々なはたらきの総体として捉えることができることがわかる。 ・心は多くの人との関わりや自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して、年齢に伴って発達することがわかる。 ・心が発達することで、自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したりすることができるようになることや筋道を立てて考えたりすることができるようになることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心はどのように成り立っているのかを調べたり、心は体のどこにあるのかを考えたりして、説明している。 ・心(感情、社会性、思考力など)は、どのように発達してきたのか、小さいころの自分と比べて考え、説明している。 ・自分の心はどんなことを通して発達してきたのか、自分の経験を振り返って人との関わりなどから考え、他者に伝えている。 ・よりよく心を発達させるための自己の課題を見付け、これからどんなことがしてみたいかを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の成り立ちやそのはたらきに関心を持ち、心が自分の小さいころと比べてどのように変わってきたか、進んで小さいころを思い出して比較しようとしている。 ・自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したり、自分の気持ちをうまく相手に伝えたりして、心をより豊かにしていこうとしている。 ・自己の気持ちを上手に伝えられるようになろうとするなど、他者とよりよいコミュニケーションを取れるようになろうとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 心と体の関わり	1	<ul style="list-style-type: none"> ・心と体の関わりを知り、心と体は深く影響し合っていることを理解できるようにする。 ・心と体の関わりについて、自己の経験と学習したことを関連付けて考えることができるようにする。 ・心と体の関わりについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安や緊張時には、動悸が激しくなったり、腹痛を起こしたりすること、体調が悪いときには、集中できなかつたり、落ち込んだ気持ちになつたりすること、体調がよいときには、気持ちが明るくなつたり、集中できるようになつたりすることなど、心と体は深く影響し合っていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張したときや、うれしいときに体の状態がどうなるかを考え、説明している。 ・睡眠不足や適切な運動をしたときに心の状態がどうなるかを考え、説明している。 ・心と体はどのようにつながっているのかを調べ、発表している。 ・自分のふだんの生活の中で、心と体が影響し合っていると思うことについて考え、記している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心配事があったときや緊張したときの体調の変化や、体の調子が悪かったとき・よかったときの心の状態を、自分の経験に照らし合わせて具体的に思い出そうとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 不安やなやみなどへの対処	1	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを知り、呼吸法などの対処のしかたをできるようにする。 不安や悩みに対処する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選ぶことができるようにする。 不安や悩みの対処法を自分で考え、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みがあるということは誰もが経験することであり、そうした場合には、家族や先生、友達などと話したり、相談したりすること、仲間と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うことなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりするなど様々な方法があり、自分に合った適切な方法で対処できることを理解している。 自己の心に不安や悩みがあるという状態に気付くことや不安や悩みに対処するために様々な経験をすることは、心の発達のために大切であることを理解している。 不安や悩みへの対処として、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の悩みにはどんなものがあり、どんなことについていちばん悩んでいるのかを調べ、他者に伝えている。 不安や悩みへの対処法にはどんなものがあるのかを話し合い、自分に合った適切な対処法はなにかを考え、選択している。 心や体の緊張を和らげるための深呼吸を試し、深呼吸する前と後ではどんな変化があるのかを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな悩みの例に注目し、自分も同じような悩みはないか照らし合わせるなど、それぞれの項目に関心をよせている。 不安や悩みの対処の仕方に関心をもち、自分に合った対処の仕方を進んで考えようとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
けがの防止 けがや事故の起こり方	1	<ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係していることを理解できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、説明できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年多くの交通事故や水の事故が発生し、けがをする人や死亡する人が少なくないことがわかる。 ・けがや事故の多くは、人の行動と周りの環境が原因で起きていることがわかる。 ・人の行動は、慌てていた、疲れていたなど、そのときの心の状態や体の調子とも関係していることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故は何が原因で起こるのか調べ、説明している。 ・学校生活でのけがは、いつどこで多く起きているのかを知り、その理由を人の行動と環境から説明している。 ・様々な状況におけるけがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分けて考え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や日常の生活での事故やけがの原因に関心を持ち、危険予測に進んで取り組もうとしている。 ・事故やけがの起こり方の原則に照らし合わせて危険予測をし、いろいろな場面での事故やけがの具体的な原因を進んで探ろうとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
けがの防止 学校や地域でのけがの防止	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを、理解できるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・学校や地域でのけがの防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域でのけがを防ぐには、ルールを守るとともに、危険を予測して、正しい判断をし、安全な行動をとることが大切であることがわかる。 ・学校や地域でのけがを防ぐには、危険な場所の点検や修理などを通して、安全な環境をつくることも必要であることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがにつながる「かくれた危険」を見つけ、その理由を説明している。 ・どうすれば学校や地域でのけがを防ぐことができるのかを調べ、説明している。 ・ある場面にどんな危険が潜んでいるのか危険の予測をし、安全な行動の仕方を考え、記している。 ・学校や地域では危険を防ぐためにどのような安全な環境づくりが行われているのかを調べ、発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの防止の原則に関心を持ち、学校生活で危険を予測した様々な場面について、進んであてはめてみようとしている。 ・学校や地域、家庭における安全な環境づくりについて、どのような工夫や備えをしているのか、進んで調べようとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
けがの防止 交通事故の防止	1	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを、理解できるようにする。 ・自己の周囲の環境を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・交通事故の防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止には、学校や地域でのけがの防止と同じように、危険を予測し、正しい判断をして安全な行動をとることが大切であることがわかる。 ・交通事故を防止するために様々な環境づくりが行われていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故はどんな場所で、どんなときに起こりやすいのかを理解して、説明している。 ・ある場面における交通事故の危険を予測し、事故にあわないための安全な行動を考えて、記している。 ・交通事故を防ぐための安全な環境づくりとしてカーブミラーや横断禁止の標識をどこに設置すればよいのかを考え、その理由を説明している。 ・自分の家の近くや通学路で交通事故が起きそうな場所を思い浮かべて、交通事故を防ぐ安全な行動を考えて、その理由を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険を予測した場面の中から、交通事故に関連した危険な場面での行動の仕方について、けがの防止の原則に進んであてはめてみようとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
けがの防止 犯罪被害の防止	1	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害にあわないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや、犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解できるようにする。 ・犯罪被害から身を守るために、危険を予測し、回避の方法を考えて、説明できるようにする。 ・犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、積極的に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪から身を守るには、犯罪被害にあいやすい場所を避けるなど、危険を予測し、安全な行動をとることが大切なことがわかる。 ・犯罪被害に巻き込まれそうになったら、すぐに逃げたり、大声で助けを求めたりすることが大切であることを理解している。 ・警察や地域の人々によって、危険な場所の点検などの活動を通して安全を守るための環境づくりが行われていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生が誘拐や暴力などの犯罪被害にあいやすい場所がわかり、犯罪被害にあいやすい理由を考え、説明している。 ・様々な場面において犯罪被害にあうとどんな危険があるのかを予測し、犯罪被害にあわないための安全な行動の仕方を考えている。 ・犯罪被害を防ぐための安全な環境づくりにはどんなものがあるのかを調べ、他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが住んでいる地域において、犯罪被害にあいやすい場所はどこか、進んで調べようとしている。 ・自分たちが住んでいる地域において、犯罪被害を防ぐためにどんな安全な環境づくりが行われているか、進んで調べようとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
けがの防止 けがの手当	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自らできる簡単な手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法があることを知り、手当ができるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返ったり、学習したことを活用したりして、けがの適切な手当の方法を考えたり、選んだりできるようにする。 ・けがの手当について、これまでの経験を振り返ったり、実習に取り組んだりして、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをしたときには、けがの種類や程度などをできるだけ早く判断することが大切であることを理解している。 ・軽いけがのときはすばやく自分で手当をすることで、けがの悪化を防ぎ、治りも早くなることがわかる。 ・自分で手当ができない大きなけがのときや、自分で手当ができるかどうか判断がつかないときは、すぐに近くの人に知らせることが大切であることを理解している。 ・自分でできる手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、けがをしたところを冷やすなどの方法があることを知り、けがに合った適切な手当の仕方を選んで簡単な手当ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で起きやすいけがをグラフから読み取っている。 ・けがをしたり、けがをしている人を見たりしたときに、まず何をすればよいのかを調べ、発表したりしている。 ・手当の仕方の原則を知り、いろいろなけがの手当について他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が校庭でけがをしたときのことを想定して、どのように行動すればよいのかを進んで考えている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動 ・体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。	・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。 ・様々な運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことなどを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。	・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
・体の動きを高める運動	4	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	・体の動きを高める運動の行い方がわかる。 (ア)体の柔らかさを高めるための運動 体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (イ)巧みな動きを高めるための運動 人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。	・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいる。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。 ・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。	・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

			<p>(ウ)力強い動きを高めるための運動 自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。</p> <p>(エ)動きを持続する能力を高めるための運動 一つの運動又は複数の運動を組み合わせで一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。</p>	<p>・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。</p>	
--	--	--	---	---	--

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・マット運動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・技に挑戦したり, 技を組み合わせたり, 仲間と動きを合わせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり, その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり, ペアやグループで動きを組み合わせさせて演技をつくったりできる。 ○開脚前転(更なる発展技: 易しい場での伸膝前転) ○補助倒立前転(更なる発展技: 倒立前転, 跳び前転) ○伸膝後転(更なる発展技: 後転倒立) ○倒立ブリッジ(更なる発展技: 前方倒立回転) ○ロンダート ○補助倒立(更なる発展技: 倒立) 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動のポイントを理解し, 自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために, 複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり, 学習カードやICT機器を活用したりして見付けた, 演技のこつやわかったことを, 文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動の基本的な技や発展技, それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど, 学習の仕方や約束を守り, 仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで, 分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり, 課題の解決方法を工夫したりする際に, 仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように, 互いの服装や髪形に気を付けたり, 場の危険物を取り除いたりするとともに, 試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・鉄棒運動	3	<ul style="list-style-type: none"> ・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転(更なる発展技: 前方伸膝支持回転) ○片足踏み越し下り(更なる発展技: 横とび越し下り) ○膝掛け上がり(更なる発展技: もも掛け上がり) ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転(更なる発展技: 後方伸膝支持回転) ○後方もも掛け回転 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
器械運動 ・跳び箱運動	6	・いろいろな技に挑戦し、安定した跳び方ができるようにする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び(更なる発展技: 屈身跳び) ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び(更なる発展技: 前方屈腕倒立回転跳び)	・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
陸上運動 ・短距離走・リレー	5	・よりよい走り方を身に付けて、短距離走の日本記録に挑戦したり、みんなの力を生かす作戦を工夫して、チームの合計記録を縮めることに挑戦したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走やリレーの行い方がわかる。 ・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
陸上運動 走り高跳び	6	・リズムカルな助走から力強く踏み切って高く跳び、自分の記録に挑戦したり、走り高跳びの競争をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・上体を起こして力強く踏み切ることができる。 ・はさみ跳びで、足から着地することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り高跳びの場の危険物を取り除いたり、整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
陸上運動 ・2種競技(走り幅跳び・ソフトボール投げ)	5	・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技をして、記録に挑戦したり、得点競争をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技の行い方がわかる。 【走り幅跳び】 ・7～9歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。 ・かがみ跳びから両足で着地することができる。 【ソフトボール投げ】 ・投げる手と反対の足を踏み出すことができる。 ・踏み出す足に体重を乗せることができる。 ・手を大きく振って投げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びとソフトボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り幅跳びとソフトボール投げのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り幅跳びやソフトボール投げの場の危険物を取り除いたり、それぞれの場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水泳運動	8	<ul style="list-style-type: none"> 安全確保に繋がる動きができるようになる。平泳ぎやクロールで長く泳げるようになる。 	<p>【クロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> クロールの行い方がわかる。 手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。 柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルなばた足をする事ができる。 肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。 左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。 <p>【平泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平泳ぎの行い方がわかる。 両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。 足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。 手の動きに合わせて呼吸することができる。 キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードや掲示物などを活用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見つけたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 ウ 水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確かめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。

			<p>【安全確保につながる運動】</p> <ul style="list-style-type: none">・安全確保につながる運動の行い方がわかる。・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押し沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に浮上する浮き沈みを続けることができる・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。・息を一度に吐き出し呼吸することができる。	
--	--	--	--	--

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ネット型(ソフトバレーボール)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・攻めの組み立て方を工夫して、ソフトバレーボールをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバレーボールの行い方がわかる。 ・自陣のコート(中央付近)から相手コートに向けサービスを打ち入れることができる。 ・ボールの方向に体を向けて、その方向に素早く移動することができる。 ・味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。 ・片手、両手を使って、相手コートにボールを打ち返すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくソフトバレーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバレーボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ゴール型(シートバスケットボール)	8	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・シートバスケットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをする。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゲーム ゴール型(フリーゾーンサッカー)	8	<ul style="list-style-type: none"> ・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、フリーゾーンサッカーをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーゾーンサッカーの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどを行うことができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくフリーゾーンサッカーに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーゾーンサッカーの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現運動・ 表現運動・踊る！ 思い出の○ ○	8	・生活や自然，社会のいろいろな題材の中から，印象的なできごとを見つけ，表したいイメージを感じを込めて踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「踊る！ 思い出の○○」の行い方がわかる。 ・表現「踊る！ 思い出の○○」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え，表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり，グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え，そこに感情の変化や起伏を重ねていくことができる。 ・表したい感じやイメージを，素早く走る一急に止まる，ねじる一回る，跳ぶ一転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返したりして，激しい感じや急変する感じをメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「踊る！ 思い出の○○」のポイントがわかり，自分の課題の解決策を考えたり，課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいく。 ・表現したい「イメージを強調する」ために，差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいく。 ・表現したい「イメージを伝える」ために，一番盛り上げたい場面を明確にし，急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいく。 ・表したい感じやイメージが表現され，踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいく。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「踊る！ 思い出の○○」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。 ・表現に取り組む際に，互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・表現にグループで取り組む際に，仲間と助け合っている。 ・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに，仲間とぶつからないよう，場の安全に気を配っている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
表現運動 フォークダンス・世界のフォークダンス	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「マイム・マイム」「コロボチカ」「グスタフススコール」など、世界の踊りの特徴を捉えて踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンスの行い方がわかる。 ・外国の踊り特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ・マイム・マイム(イスラエル)などのシングルサークルで踊る力強い踊りでは、みんなで手をつなぎ、かけ声をかけて力強くステップを踏みながら移動して踊ることができる。 ・コロボチカ(ロシア)などのパートナーチェンジのある軽快な踊りでは、パートナーと組んでスリーステップターンなどの軽快なステップで動きを合わせたり、パートナーチェンジをスムーズに行ったりしながら踊ることができる。 ・グスタフス・スコール(スウェーデン)などの特徴的な隊形と構成の踊りでは、前半の厳かな挨拶の部分と後半の軽快なスキップやアーチくぐりなどの変化を付けて、パートナーや全体でスムーズに隊形移動しながら踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国のフォークダンスのポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいる。 ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 ・ペアのグループやクラス全体で踊り、身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。 ・フォークダンスに取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合うこと。 ・フォークダンスにグループで取り組む際に、仲間と助け合うこと。 ・フォークダンスを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たすこと。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配ること。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 病気の起こり方	1	<ul style="list-style-type: none"> ・病気は病原体, 体の抵抗力, 生活行動, 環境などが関わり合って起こることを理解できるようにする。 ・病気の原因について, 病原体, 体の抵抗力, 生活行動, 環境などの要因に分類して考え, 説明できるようにする。 ・いろいろな病気やその起こり方について関心を持ち, 課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体が冷えたときや, 夜ふかしなどの健康によくない生活を続けていたときに, かぜの病原体が体の中に入るとかぜをひきやすくなる。このように, かぜは様々な原因が関わり合って起こることがわかる。 ・病気は, 病原体, 体の抵抗力, 生活の仕方, 環境などが関わり合って起こることがわかる。 ・病気の予防には病気の起こり方を知っておくことが大切であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなときにかぜをひくのか, 自分の経験を思い出して, 自分の考えを他者に伝えている。 ・かぜを参考にして, いろいろな病気はどんなことが関わり合っ起こるのかを考え, 説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろ経験しているかぜなどの病気について, その原因を進んで調べようとしている。 ・病気から体を守る様々なはたらきに関心を持ち, 資料等で調べようとしている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 感染症の予防	1	<ul style="list-style-type: none"> ・病原体が主な原因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めておくことが必要であることを理解できるようにする。 ・感染症の予防の仕方を考えたり、選んだりした方法がなぜ適切であるか、理由をあげて学習カードに書くことができるようにする。 ・病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病原体には多くの種類があり、体の中への入りからもさまざまである。インフルエンザや結核、はしか、風しんなどの病原体は、主に空気を通して体の中へ入ることがわかる。 ・食中毒の原因となるノロウイルスなどの病原体は、病原体が付いた手や食べ物を通して体の中へ入ることがわかる。 ・病原体の種類によって体に現れる症状も違うことがわかる。 ・感染症を予防するには、病原体が発生するもとをなくすこと、移る道筋を断ち切ることなど、病原体を体の中に入れていないようにすることが必要であること。また、体の抵抗力を高めておくと病気にかかりにくくなることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザウイルスや食中毒の原因となる病原体がどのようにして体の中に入るのかを調べ、説明している。 ・感染症を予防するには、どうすればよいのかを病原体の体の中への入り方などから自分の考えを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザや結核、食中毒、エイズなどの病気について、その特徴や感染の仕方、予防の仕方を進んで調べようとしている。 ・自分の生活を振り返って、感染症を予防するためにこれから気をつけようと思うことやその理由を進んで考えている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 不安生活習慣病の予防①	1	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病を予防するには、運動、食事、睡眠などについて、健康によい生活習慣を身に付けることが必要であることを理解できるようにする。 生活習慣病の原因となる生活習慣について考え、生活習慣病を予防する方法について説明することができるようにする。 生活習慣病に関心をもち、学習した知識をもとに自分の生活を振り返るなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 心臓病や脳卒中などの生活習慣病は、運動不足や、糖分、脂肪分、塩分の取り過ぎ、不規則な生活などが関係して起こることがわかる。 生活習慣病を予防するには、適切な運動、栄養のバランスのよい食事、十分な休養・睡眠など、毎日の生活の仕方に気をつけて、健康によい生活習慣を身に付けることが大切であることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病にはどんなものがあるのか、また、健康によくない生活と生活習慣病にはどんな関係があるのかを調べ、自分の考えを他者に伝えている。 具体的な事例における生活習慣病を予防するための方法を理由とともに考え、記している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を振り返って、生活習慣病を防ぐためにこれから実行したいことを進んで考え、日常生活に生かそうとしている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 生活習慣病の予防②	1	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯や歯周病の予防には、毎日の生活の仕方が関係していることを理解できるようにする。 ・むし歯や歯周病の予防方法について、学習した知識を活用して具体的に考え、説明できるようにする。 ・口腔の衛生を保つための生活習慣について、自己の生活を振り返ったり、これからの生活の仕方を考えたりしながら、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯は、歯垢の中の細菌が、糖分を酸に変え、その酸が歯を溶かすことで起こり、食事中や食後は酸が強くなるので、口の中を清潔にしておかないと、歯のとけた状態が長く続き、むし歯になりやすくなることがわかる。 ・むし歯や歯周病を予防するには、食後や寝る前に歯を磨いて、口の中をいつも清潔にしておくことが大切なこと。また、甘いものを控えめにするなど、糖分を取り過ぎないようにすることも予防になることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯や歯周病がどのようにして起こるのか、その仕組みを調べ、他者に伝えている。 ・具体的な事例においてむし歯になりやすい生活習慣について考え、発表したりしている。 ・具体的な事例においてむし歯にならないためのアドバイスを考え、書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返って、むし歯や歯周病を防ぐためにこれから実行したいことを進んで考え、日常生活に生かそうとしている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 喫煙の害	1	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙には、急性の害と慢性の害があることや受動喫煙により周囲の人々の健康にも害を及ぼすことを理解できるようにする。 ・喫煙と健康について、害や体への影響を考え、説明できるようにする。 ・喫煙の害について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙は、肺や心臓、脳、胃などに悪い影響を与えること。また、一度習慣になると簡単にはやめられなくなり、長い間吸い続けると、肺がんや心臓病などにかかりやすくなることがわかる。 ・たばこを吸い始めた時期が早く、吸っている期間が長いほど、体への害も大きくなるため、未成年の喫煙は法律で禁止されていることがわかる。 ・たばこの煙には、たくさんの有害物が含まれており、たばこを吸わない人でもたばこの煙を吸い込むこと(受動喫煙)で、健康に害が生じることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこを吸うと肺にどんな影響があるのかを2枚の写真から考えている。 ・たばこを吸うと体にどんな影響があるのかを調べ、すぐに体に現れる害と長い間の喫煙によって現れる害に分けて発表している。 ・どんな場所が喫煙を制限したり、禁煙にしたりしているのか、その理由を考え、発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこを人からすすめられた場合には、声に出して、はっきりと断る意志と態度を示している。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 飲酒の害	1	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒は、判断力が鈍る、呼吸や胸が苦しくなるなどの影響がすぐに現れることや、飲酒を長い間続けると肝臓がんなどの病気の原因になることを理解できるようにする。 ・飲酒の害や体への影響を考え、説明することができるようにする。 ・飲酒と健康について関心を持ち、課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・酒類に含まれているアルコールは、脳のはたらきを低下させるため、酒を飲むと注意力や判断力がにぶり、事故やけがを引き起こすこと。また、呼吸や胸が苦しくなるなど体への影響も現れることがわかる。 ・一度に多量の酒を飲むと急性アルコール中毒になって死亡することがあることがわかる。 ・飲酒の習慣は、肝臓、脳、胃、食道、腸、心臓などに負担をかけて多くの病気を引き起こすことがわかる。 ・体の発育する時期の飲酒は心身におよぼす害が特に大きいので、未成年の飲酒は法律で禁止されていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒を続けていると脳にどんな影響があるのかを2枚の写真から考えている。 ・飲酒を続けていると体にどんな影響があるのかを調べ、すぐに体に現れる害と長い間の飲酒によって現れる害に分けて発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・酒を人からすすめられた場合には、声に出して、はっきりと断る意志と態度を示している。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 薬物乱用の害	1	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用は、1回の乱用で死に至ることがあり、乱用を続けるとやめられなくなって、心身の健康に深刻な害を与えることを理解できるようにする。 ・薬物乱用の害や周りの人への影響を考え、説明することができるようにする。 ・薬物乱用について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用とは、医薬品を医療以外の目的で使ったり、シンナーなどの化学物質を本来の目的以外に不正に使ったりすることであり、1回の使用でも乱用になることがわかる。 ・薬物の乱用は心身に重大な障害を引き起こし、1回の乱用でも死ぬことがあることがわかる。 ・薬物には「依存性」があり、軽い気持ちで使うとやめられなくなる。また、乱用を続けると自分の心身の健康に重大な害をあたえるほか、犯罪や事故など、社会的な事件を引き起こし、周りの人にたいへんな迷惑をかけることがわかる。 ・薬物の乱用は法律で禁止されていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンナーなどの薬物を乱用すると、体にどんな影響があるのかを調べ、発表している。 ・薬物乱用のこわさについて考え、他者に伝えたり、発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物には手を出さないという自分の決意とその理由を書いて、強い意志を示している。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健 地域の保健活動	1	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の病気を予防するために、保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを理解できるようにする。 ・地域の様々な保健活動の取り組みの中から、人々の病気を予防するための取り組みを選ぶことができるようにする。 ・地域の保健活動について、課題の解決に向けての調べ学習や発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所や保健センターでは、病気の予防や人々の健康づくりのために、健康的な生活習慣に関わる情報の提供や予防接種など、様々な活動が行われていることなどから、私たちの健康は地域の様々な活動に支えられていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のために自分が気をつけていること、また、学校で行われている活動について考えている。 ・人々の健康を守るために地域の保健所や保健センターでどんな活動が行われているのかを調べ、発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる地域の保健所や保健センターでどんな活動が行われているのかを進んで調べようとしている。